

はばたき

橋北小学校
学校だより No.19
2014 (平成 26) 年
1月 17日

今年もよろしくお祈いします

新しい年になって、早くも半月がたちました。本年もよろしくお祈いします。

1月8日の始業式で、子どもたちに「この3学期そして今年、『できた!』『やった!』といえることがたくさんあるといいね。そのためには挑戦してみる事が大切。失敗してもいい。そこから学べることはきっとある。挑戦もせずに『できた!』『やった!』といえることはない。三学期、今年のためあてや目標を決めてがんばってほしい。」といった話をしました。

6年生は、自分のためあてや自分ががんばろうと思うことを墨と筆で次のよう記しました。いくつか紹介します。



今年も季節の花を飾っていただいています

自信	華	両立	精神	真剣	開花	自由	健康	元気	進
大切	努力	仲間	友達	野球	蹴球	挑戦	全力	百点	漢字
計算	維持	練習	笑顔	友情	目標	中学	進歩	前進	勉強
未知	平凡	行進							

子どもの書いた言葉(字)を見ると、子どもの願いが感じられたり、何に取り組むかが想像できたりします。多くの子どもが卒業まで2ヶ月となって、中学に進学することを意識しているのだなと思います。この言葉を選んだ思い・背景についてはとても興味深いです。

2014年、子どもたち、保護者の皆さん、地域の方々にとって実り多く、よい年となりますよう願っています。

1月 ^{むつき}睦月 ^{なかむつ}仲睦まじい月

1月の暗唱は、「十二支」と「月の異名」です。月の異名とは、「睦月・如月・弥生……師走」の言い方です。休み時間になると、何人もの子どもたちが校長室に来て努力の「成果」を聞かせてくれます。

さて、この陰暦の月の名にはそれぞれ由来があるそうです。いくつかの説があるようですが、その中にはなるほどと思うものも多くあります。1月の「睦月」は、「新年を迎え、互いが往来し睦まじくすること」からという説が有力だそうです。子どもたちなりに自分の生まれ月や12の月名にはこんな意味があるのだと興味を持ってくれたらと、それぞれの月の名の由来を校長室にも掲示して、それを話題に話をしたいと考えています。

校内書写展が始まります

1月20日~24日 8時~17時
※児童昇降口からお入りください

20日(月)から24日(金)まで「校内書写展」を実施します。3学期になって「新年書き初め」で書いた作品を各学級の廊下に掲示します。ぜひ、ご覧ください。

先週の書き初めでは、子どもたちはピリッとした空気の中、真剣な面持ちで取り組んでいました。「冬休みの練習の成果を発揮するぞ。」と意気込みを感じさせる子もいました。

子どもたちからは、「練習してもすぐには満



足できるように書けなかったけど、何枚か練習を重ねるうちに少しずつ上手く書けるようになった。」
「このところが難しい。いつも書けない。」などと、その努力の様子が目に浮かぶ話をしてくれました。

こういった取組を通じて、わが国の伝統的な文字文化について親しみ、関心・興味を深める機会・経験となってくれたらと思います。

【取り組んだ課題】

1年（硬筆） ともだち

2年（硬筆） 黄色いバケツ

3年（毛筆） 水

4年（毛筆） 天空

5年（毛筆） 出発

6年（毛筆） 希望

三泗小中学校書写展（四日市市・三重郡の各学校からの代表作品が展示されます。）

場所 四日市市文化会館

日時 1月25日(土)～28日(火)9時～16時30分 ※27日は休館、28日は15時まで

冬の自然も観てみるとおもしろい！（4年生の理科の学習から）

4年生は「自然とかかわる」ということが理科の学習のテーマで、学校にある身近な自然の観察を季節に応じてしています。

ヘチマやヒョウタンも冬まで畑にそのまま置いておいてどうなるか観察します。これらの実は普通は秋には採ってしまうことが多いのではないのでしょうか。自然の中でどのように次の年を迎えるのか見ようとするのです。観察では、子どもたちはヘチマの中が糸のような繊維で見事に形作られていて、その中に黒い種が入っているのを興味深そうにみていました。春に蒔いた種が実から出てくるのに気付く体験です。



木々の芽についても桜を中心に観察しています。子どもたちは観察カードに、絵と文で観察した記録をかいています。しかし、本当に観たとおりにかいているのかというと、実はそうではないことが多いのです。それに気付いていくのも学習です。桜の芽は、枝にどのようについているのか気にしている子どもがいます。芽の形を気にしている子どもがいます。芽の中がどうなっているのか気にしている子どもがいます（葉になる芽と花になる芽があります）。「気にしていること・気になること」がとても大切です。こういったことを確かめ合ったり、話し合ったりすることで、子どもの見る力・感じる力、探究心（科学的な眼となるもの）は高まります。

子どもの興味・関心に火をつけ、刺激して楽しい学びにするか、私たち大人の関わりは大切です。気付く場を作ること、気付くことへの後押しをすることなど、一つひとつ大切にしていきたいと思えます。一緒に感動すること、共に楽しむことも大切にしたいものです。

以前、「自然の変化を感じられる子どもになってほしい。」といったことを書いたことがあります。4年生だけでなく、本校の子どもたちがそうなるように、冬から春にかけての変化や冬のおもしろさを感じていけるような投げかけをしていきたいと考えています。

インフルエンザの流行のおそれがあります。

手洗い・うがい・かんき・せきエチケットで予防と健康管理に努めましょ

う

（今週、増える兆候があります。）